



防災カフェ ☕

— 天候の急変に 備える心構えを —

2月は冬の真っ只中で、寒さと雪が日常生活の中に深く根を下ろす時期です。気温は日中でも0℃を超えない日が多く、夜はマイナスの冷え込みが続くことも珍しくはありません。

吹雪や視界の悪化を伴う日もあり、積雪は場所や天候次第で急速に増減します。特に積雪地帯では雪庇の落下や地吹雪、山間部の急な雪崩のリスクが高まります。

寒暖差の激しい日には道路の表面が凍結し、夜間・早朝の路面は特に滑りやすくなりますので、車の運転時は車間距離を十分に取り、急ブレーキや急ハンドルを避けましょう。また、暴風雪になると看板の転倒や倒木の危険性が高まり、視界も悪くなりますので、外出はできるだけ控えるようにしましょう。さらに家庭内では、暖房器具の換気不足や一酸化炭素中毒、凍結による水道管の破裂など、生活を支える設備のトラブルにも注意が必要です。

これらに備えるためには、最新の気象情報を日

頃から確認する習慣をつけ、天候の急変に備えましょう。外出時には防寒対策を徹底し、転倒を防ぐために滑り止めのある靴を選ぶことも重要です。

また、外出が困難な悪天候に備えて、非常食や飲料水など非常時の備蓄も進めておいてください。

自分や家族、周囲の安全を守るためには、信頼できる情報源に基づき、冷静な判断と悪天候に備える心構えや準備が大切です。天候が急変した際は、気象庁の天候予測や市からの情報に注意しながら行動してください。

暴風雪への備えリーフレット▶



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

もしもの時に備える！ 避難所くらし講座を開催します！！

災害時に避難所で快適に過ごすための工夫と注目されている段ボールベッド。

本講座では「段ボールベッド」、「間仕切りテント」、「簡易トイレ用テント」の組み立てを体験しながら、その効果や使いかたを学びます。

多くのご参加をお待ちしています。



- テーマ／もしもの時に備える！避難所くらし講座
- 日時／3月5日(木)午後1時30分～3時30分
- 場所／総合福祉センター2階大ホール
- 講師／池島和行さん
(北海道災害支援ボランティア TEAM North代表)
- 参加費／無料
- 申込・詳細／社会福祉協議会 ☎22-2194

ガソリンや灯油、軽油の取扱いに注意を

ガソリンなどの危険物は、ひとたび火災が発生すると短時間で延焼拡大し、消火も困難となります。これらの危険物を運搬、貯蔵、取扱う場合には、所定の性能試験に合格したもので、油種に合わせた専用の容器を使用するようにしてください。

【ガソリン】試験確認済証などの表示が付いた、ガソリン携行缶を使用してください。乗用車等で運搬する場合は、22リットル以下の容器で運搬してください。

【軽油】軽油用として性能試験に合格し、適合表示が付いたものを使用してください。ガソリン携行缶も使用することができますが、容器に「軽油」と表示してください。

【灯油】灯油用の性能試験に合格し、適合表示が付いたものを使用してください。

また、灯油は比較的劣化しやすい燃料です。容器に入っている灯油は、できるだけシーズンごとに使い切るようにしてください。

●詳細／芦別消防署保安係 ☎22-3106